

「文化的言語的に多様な子どもの教育のための汎用的言語能力の参照枠の構築」 成果報告会

日時 2025年2月16日(日)10時30分～13時00分(開場10時)
会場 東京外国語大学(府中) マルチメディアホール(研究講義棟1階)

本研究は、2016年から2020年にかけて実施されたJSPS基盤(B)「JSL対話型アセスメントDLAの精緻化と外国人児童生徒のための教育的枠組みの構築」の成果をさらに発展させた取り組みです。今回は、「汎用的言語能力の参照枠」を構築した成果の報告会です。皆様とともに本研究の意義や可能性を共有し、今後の教育実践に役立つ知見を提供できることを願っています。

《プログラム》

- ・本研究の概要説明:伊東 祐郎(国際教養大学専門職大学院)
- ・発表1:櫻井 千穂(大阪大学大学院)
「包括的なことばの力と日本語固有の力の捉え方－国内外の言語能力記述文の比較検討から」
- ・発表2:伊澤 明香(関西大学)・小林 幸江(東京外国語大学名誉教授)
「言語能力記述文案作成のプロセス－「聞く・話す」を例に」
- ・発表3:佐野 愛子(立命館大学)
「多文化多言語の子どもを書く力の発達－作文データの質的分析をもとに」
- ・発表4:小島 祥美(東京外国語大学)
「研究成果ハイライト－文部科学省プロジェクト「ことばの力のものさし」の開発に向けて」
- ・ディスカッサント1:中島 和子(トロント大学名誉教授)
「マルチリンガル教育理論における評価－本研究の成果と課題」
- ・ディスカッサント2:真嶋 潤子(国際交流基金関西国際センター)
「本成果の特長:CEFRや「日本語教育の参照枠」との違い」
- ・フロアからの質疑応答(コメントシート)
※その他の研究メンバー:松田 真希子(東京都立大学)
三輪 聖(テュービンゲン大学)

申込はこちら ●右のQRコードから申し込み

<https://forms.gle/n42BSe7WQ4boXUxx5>

●事前申込制 ●参加費無料 ●定員70名



問い合わせ ➡ 国際教養大学 伊東研究室 (sito@aiu.ac.jp)